

第29回兵庫神鍋高原マラソン全国大会の開催について

昭和55年初開催し、今回29回目を迎える兵庫神鍋高原マラソン全国大会を、8月31日(日)に但馬ドームをスタート・ゴールとして開催する。

1. 申込者数について(受付期間4月1日から6月30日まで)

今大会には、北は茨城県、南は大分県の全国27都府県から5,763人(前回大会4,859人)の申込みがあった。県内からの申込者数は3,369人。うち、豊岡市は747人。

平成7年に開催した第16回大会の5,687人を上回り、過去最高の人数となる。

5 km	1,336人(前年比184人増...県内123人・県外61人増)
10 km	1,799人(前年比264人増...県内142人・県外122人増)
ハーフマラソン	1,606人(前年比322人増...県内137人・県外185人増)
ファミリージョギング	1,022人(前年比134人増...県内149人・県外15人減)
	292家族
合計	5,763人(前年比904人増...県内551人増・県外353人増)

2. 今大会の特徴

(1) 環境に配慮した大会運営

本市は、環境への取組みを推進している。大会運営においても取組みを実践することで、本市の取組みを紹介するとともに、来場者の環境意識の高揚を図る。

バイオマスタウン推進事業の展開

来場者向けサービスとして提供する地元プロイラーを使用した鳥の唐揚げに、地元栽培のナタネから搾油した油を使用する。使用後の油はBDF化して公用車などで再利用を予定。会場では搾油実演も予定している。

エコ商品の積極的な利用

ア. 再生PET繊維を使ったスタッフキャップの作成

イ. 非木材繊維(バガス、ケナフ等)使用のコップ・トレー、PET樹脂カップの使用

ウ. 大会パンフレット、プログラム等の印刷物にソイインク(大豆油インク)を使用
ゴミ分別の徹底

ボーイスカウト会員やゴミ処理業者がゴミ箱配置場所に立ち、ゴミの適正な分別をお願いします。

(2) 大会を通じたコウノトリリズムの展開

例年、新大阪(2台)神戸(1台)姫路(1台)からマラソンバスを運行しているが、今回初めて豊岡市内観光付きのマラソンバス(新大阪から1台)を運行する予定であり、大会への参加を本市の魅力を知っていただく機会として活かしていく。

観光つきマラソンバスは、午前9時に新大阪駅を出発。出石城下町で出石そば食べ放題の昼食の後、県立コウノトリの郷公園を見学、じばさんT A J I M Aで土産物を購入する時間を設定し、その後、大会会場で選手受付を行う。(6月30日締切:申込者21人)

(3) 観光資源、文化資源の活用とPR

毎年、各部門の上位入賞者には、市内の観光・文化資源を活用して製作した大会オリジナルの入賞盾を贈呈している。今大会の入賞盾は、城崎麦わら細工振興協議会の協力を得て、神鍋高原の夏を麦わら細工で表現したもので、全て手作業により171個を製作中である。

平成5年に県の伝統工芸品に指定され、その伝統と技術が伝承されているのは城崎のみと言われている麦わら細工を全国に情報発信する機会とする。